

寝屋川ニュース

発行元 松愛会 寝屋川地区委員会
発行日 平成10年3月1日(年2回発行)
発行人 片井 巖 ☎ & FAX 26-1892
会員数 2月20日現在 430名

《地区活動の充実強化を》

昨年11月松愛会設立25周年記念行事として、社会貢献募金運動が実施され、寝屋川地区でも多くの方々の理解と協力で所期の目標はほぼ達成されました。心から厚くお礼申し上げます。

当地区では記念行事の一環として全会員の皆さんに地区活動状況等をお知らせする「寝屋川ニュース」を創刊致しました。

今日ここに第2号を発行する運びとなり、今後も内容を更に充実して引き続き発行してゆく決意であります。

松愛会活動の基本は地区活動であり、従ってより多くの方々が地区の催しに喜んで気軽に参加される魅力ある有意義な活動を目指しております。

我々の地区活動を質的に量的にも高め、皆さんの心の拠、生きがいの一助になるよう努力して参ります。どうか積極的なご意見、ご提言をお寄せ下さい。

当地区会員数も430名(2月末)を数え、年々増加し平成12年には500名を超す集団へと成長します。

従来からの活動にプラスワン、即ち寝屋川市に密着した少しでもお役に立つ活動とを考えております。

どうぞ、ご支援ご協力の程お願い致します。

【新春地区総会の報告】

1月31日(土)松心会館で119名の参加者を迎えて盛大に行われる。

第一部 地区委員の改選、全国総会の代議員選出、そのあと、特別企画行事「NGO(民間ボランティア)の働きについて」の講演を行いました。お話は当地区会員であり、社団法人アジア協会・アジア友の会会長であります横井克己氏にお願いしました。

アジアの貧しい人達には薬以前の問題があります。それは生活に欠くことのできない水に困っています。横井氏が先頭に立って進めておられるアジア友の会のボランティア活動は、その水を得るための井戸を数多く作ってこられました。その活動も今年で19年になります。

政府からの資金援助はありません。政府から金が出ていることがわかると、現地では当たり前と思ってしまう。会員が頭を下げてまわって資金を集め、集めたお金だけを援助するのではなくて、どこの場所にどのようなものを作るかを検討し、現場をよく見て、そしてチームを編成して出かけ、現地の人と一緒に作業していく活動なのです。

井戸を完成して水を汲みあげて流した時、現地の人々の喜ぶ顔が大変うれしく、やり甲斐を感じます。

そのような活動の積み重ねで、今では戦争の後遺症はなくなってきて、現地の人達から無名戦士の墓を作ってやってくれと、云うようになってきました。

「松愛シップ25」につながる含蓄あるお話でした。

講演会が終わったあと、出席者にカンパをお願いしたところ、合計84,873円集まりました。すぐアジア友の会に納金させていただきましたので、ここにご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

第二部 新年宴会、今年の抱負など語り合う懇親の合間をぬって、カラオケ同好会の歌いはじめを披露、続いてビクター専属歌手・北野れい子さんの特別出演で一段と盛り上がりました。

最後にお孫さんへのお土産として出席者全員に松・竹・梅・千両・万両の「福袋」が抽選で配られました。

【お知らせ】

◆ 第1回 ボランティア活動に参加下さい

“地域に貢献するボランティア”を4月19日(日)に友呂岐公園(たこ公園近辺)で清掃をします。寝屋川市駅西側バス停前に、午前9時集合して下さい。

手袋、金銭を各自持参して下さい。ビニール袋は用意します。

◆ 寝屋川地区の中、長期計画策定の取り組み

平成12年の会員数は500名を越えることが予想されます。3～5年先をみた地区の班編成及び活動の在り方、また活動費の面などについて見直しを図るべく策定メンバーが活動しております。

【今後の地区行事予定】

◎ 年次地区総会

☆ 5月9日(土)に第27回全国総会の報告と、寝屋川地区の経過報告、本年度の活動方針及び行事計画について、年次地区総会を開催いたします。多数の方々のご出席をお願いいたします。

◎ 新入会員懇談会

☆ 3月28日(土)平成9年9月～平成10年2月の新入会員の方と懇談会を松心会館で行います。

◎ レクリエーション

☆ 平成10年度 10月8日(木)
行先は決まり次第お知らせ致します。乞うご期待

◎ 史跡巡り

☆ 第70回 3月25日(水)
源氏物語・宇治十帖を巡ります。

◎ 友呂岐会

☆ 第10回 5月21日(木) 詳細は後日連絡
松下電器産業(株)炊飯器事業部を見学します。

【お 原 頁 い、】

◎ 会員の皆さんへお願い

我々委員は、常に会員皆さんの動静を把握し何かのお役に立てるべく努力をしております。しかし動静は皆さんからの連絡がなければ解りません。特に住所変更、入院、慶弔などの連絡は出来る限り早く各班の地区委員までご連絡下さい。

◎ 各種行事へ積極的に参加をお願いします

寝屋川地区では新春総会、年次総会、史跡巡り、友呂岐会、レクリエーションなど毎月1回は、何かの行事を行っております。(年次総会で年間活動計画をお配りしています)良き出会いとお互いの親睦を図り寝屋川地区をよりよい地区にするため、皆さんの積極的な参加をお願いします。

◎ 更なる地域に密着した活動を!

会員の急増に伴い、近隣地区単位毎に気軽に話し合える会を設けて、寝屋川地区の活動をより活発にしたいと考えております。

既に5班では、昨年4月より活動されています。

〔5班の例〕

○名称 気まぐれ会(通称 三友会)

○活動内容 総会、新年宴会、忘年会、ゴルフ、宿泊旅行、カラオケ等
少人数でも各班で積極的に活動して下さい。

◎ 書き損じ「はがき」提供のお願い

書き損じて不要の「官製はがき」がありましたら何枚でも結構ですご提供下さい。活動資金の足しにさせていただきます。1月に2班の千原良夫さんより、51枚頂きました。ありがとうございました。

【ト ク ト ク 情 報】

♣ JRの青春18キップを大いに利用しましょう♣

5回分が1組になっており、¥11,500円です。

1回分で普通列車なら1日中どこまで乗ってもよい乗車券です。途中の乗り降りは何回でも可。快速や新快速列車が乗車できますので、かなりの距離が乗れます。日にちが変わればもう1回分使えばよろしい。2回分で大阪～東京往復が可能です。

5回分は分離して利用できませんが、5人が同じ行動をするのであれば、一度に使用できます。

発売期間と利用できる期間は次の通りです。

《発売》 2/20～3/31 <利用> 3/1～4/10
" 7/10～8/31 " 7/20～9/10
" 12/1～1/10 " 12/10～1/10

【郷土祭典見聞記】 齋藤 明(2班)

香里園駅の南東に古くから伝わる祭典を2つ紹介

1. 「とんど」1月14日成田公園広場、高さ10mの太い孟宗竹3本で三角形の高い櫓を立て、16段の横棧に5百余の稲藁束を稲穂正し状に掛けて藁の三角錐を作り準備完了。夕方6時半一斉点火、忽ち豪快な火の塔が生憎の雨空をも焦がす勢いで圧巻でした。

これは正月に飾った門松やしめ縄を持ち寄り送り火として神々をお送りし、その火を種火に持ち帰り翌15日の小正月の調理に使い1年の息災を願うのと火で邪悪を焼く除災の古くからの慣わしです。

2. 「お弓式」1月15日友呂岐神社⇒三井町、文献は残っていませんが約350年前から伝わる神事由来は「弓占」のようです。雅楽が楽人により奏楽されるなか厳かに祭典が進みましたが、ハイライトは午後2時からの弓占の儀で、成人式を終えて戻って来たばかりの20才の青年2人が射手に選ばれ、弓は交互に2本ずつ3回計12本の矢を的に向かって放ちます。

12本の矢は1年を意味し、矢の当り具合でこの年の天候と作物の豊凶を占います。今年は12本中7本も的に当りここ数年では最高の豊作特に中、後半が良いとの宮司の講評でした。

併せて寅年の過去は荒れたことが多く自重も必要とのことでした。このような伝承文化が末永く受け継げるように、古いのように景気も良くなるように念じながら雨足の強くなった中家路を辿りました。

【歴史散歩】 西田 保(10班)

皆さんご存じですか。寝屋川市の南西、守口市に入った所、寝屋川バイパス線の大阪方面仁和寺本町交差点の西約500米のところに、佐太天神宮が祀られています。

今年は千百年祭が行われますが、2月23日に観梅に出かけました。枝垂れ梅、紅梅、白梅と咲き乱れ風情もひとしお。観梅の後は日ごろ使い古した筆に感謝と筆塚に、又チョッピリ懐具合が良くなりますようにと佐太エビス様にお詣りと趣もあり、天神さんの向かい、横に枝が見事に伸びた古松のある米迎寺へと春のひとときを過ごすには恰好のコースと思います。

一度お気軽に出かけられては如何ですか。

18
【4月27日 第27回全国総会代議員の選出】

次の7名の方が代議員として参加されます。

1班 上岡 博、2班 清水 和美、3班 清水 良祐
4班 竹村 資郎、5班 高橋 清文、8班 水戸 光夫
10班 伊藤 武司

退任地区委員			新任地区委員プロフィール				
担当	氏名	地区委員就任期間	担当	氏名	最終事業場	出身地	趣味
1班	真鍋 敬二	H4年からH9年の6年間担当	1班	上岡 博	洗濯機	高知県	太極拳
3班	瀬川 朋子	H3年からH9年の7年間担当	3班	清水 良祐	松下産機	寝屋川市	ゴルフ
8班	小寺 忠夫	H4年からH9年の6年間担当	8班	水戸 光夫	産機モータ	大阪市	史跡巡り

「寝屋川ニュース」に関する皆さんのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

電話、FAXのいずれでも結構です。26-1892(片井)までお願いいたします。